

# 脳血管疾患ロジックモデル【各指標と評価】(全体版)

参考資料① 脳血管

## C 初期アウトカム (+個別政策アウトプット)

番号	C 個別政策アウトプット	番号	C初期アウトカム	C初期アウトカム指標	備考 ※がついている値は、は人口10万対			※目標値は令和5年度末(時点が異なる場合は時点も記載)						
					備考 ※	初期値(計画策定時の値)	初期値の後の年又は年度	現況値	現況値の年又は年度	目標値	評価			
1	・生活習慣病予防、重症化予防に係る取組 ・循環器病の症例等の把握の取組	1	危険因子の把握を普及させる	C101	みやぎヘルスサテライト・ステーション登録数	※	127	令和3年9月	149	令和4年	達成	145	◆改善している項目と、悪くなっている項目の両方あり(目標は達成している項目と未達成の項目がある)	
				C102	保健外来を行っている医療機関数	※	11.9	平成29年	12.4	令和2年	モニタリング指標			
				C103	ニコチン依存管理料を算定する患者数	※	282.6	平成29年度	276.2	令和2年度	モニタリング指標			
2	・健診等に携わる人材の育成 ・保険者に対する専門的見地からの助言	2	特定健診の内容が充実されている。また、特定健診・特定保健指導を受けることができる	C201	特定健診の追加健診で心電図検査を行う市町村数	※	15	令和2年度	13	令和4年度	悪化	22	◆値が悪くなっているものは、状況把握(理由・背景等)のを行い、関連する取組を改善等する必要がある	
				C202	特定健診未受診者へ受診勧奨を実施している市町村数	※	23	令和2年度	30	令和4年	達成	27		
				C203	特定保健指導の未利用理由を全部又は一部把握している市町村数	※	19	令和2年度	22	令和4年度	24			
				C204	みやぎヘルスサテライト・ステーション登録施設数(再掲)	※	127	令和3年9月	149	令和4年	達成	145		
3	・在宅療養の充実	3	再発予防の治療や基礎疾患・危険因子の管理、合併症への対応が可能な体制が整備されている	C301	訪問看護ステーションの従業者数	※	999人	平成29年	1,447人	令和3年	達成	1,019人		
				C302	訪問薬剤指導を実施する薬局数の割合(再掲)	※	76%	令和3年6月	70%	令和5年3月	80%			
4	・応急手当の普及啓発	4	本人及び家族等が発症後速やかに救急搬送要請ができる	C401	普通・上級救命講習人口1万人あたりの受講者数	※	163	令和元年	66.8	令和3年	悪化	170	◆改善している項目と、悪くなっている項目の両方あり(目標はすべて未達成)	
				C501	救急隊の救急救命士運用率(常時就業している割合)	※	91.0%	令和元年	92.1%	令和3年	100%	◆悪くなっているものは、状況把握(理由・背景等)のを行い、関連する取組を改善等する必要がある		
5	・救急救命士の養成	5	救急隊員が、地域のマイカド・コミュニティ活動等に参加し、地域に貢献している	C601	救急隊員が、地域のマイカド・コミュニティ活動等に参加し、地域に貢献している	※	43	令和2年8月	43	令和2年度	45	◆改善している項目と、悪くなっている項目の両方あり(目標はすべて未達成)		
				C602	ドクターヘリの要請件数	※	351	令和2年度	417	令和3年度	モニタリング指標			
7	・専門医の育成・認定に対する支援 ・自治体病院・診療所の医師確保 ・循環器病治療体制の充実 ・治療内容や医療連携に係る調査研究	7	脳卒中の急性期医療に対応できる体制が整備されている	C701	神経内科医師数	※	4.7	平成30年	4.2	令和2年	モニタリング指標	(すべてモニタリング指標)		
				C702	脳神経外科医師数	※	4.6	平成30年	6.7	令和2年	モニタリング指標			
				C703	脳卒中の専用病室を有する病院数	※	0.1	平成29年	0.1	令和2年	モニタリング指標			
				C704	脳卒中の専用病室を有する病床数	※	0.5	平成29年	0.5	令和2年	モニタリング指標			
				C705	脳卒中に対するt-PAIによる血栓溶解法の実施可能な病院数	※	0.4	令和2年3月	0.5	令和3年3月	モニタリング指標			
				C706	経皮的経冠動脈介入療法/脳梗塞に対する血栓回収術が実施可能な病院数	※	0.6	令和3年10月	0.5	令和3年10月	モニタリング指標			
8	・口腔機能管理医療機関への支援 ・歯科連携による口腔ケアの推進	8	脳梗塞性肺炎等の合併症の予防及び治療が行える体制が整備されている	C801	口腔機能管理を受ける患者数	※	433.0	令和元年度	455.0	令和2年	モニタリング指標			
				C901	遠隔支援担当者を配置している診療所・病院数	※	55	平成29年度	74	令和2年	モニタリング指標			
9	・地域包括ケアシステムの構築	9	急性期の医療機関等と回復期の医療機関等の連携体制及び在宅回復医療者に対する医療施設や地域の保健医療福祉サービスの連携体制が構築されている	C902	地域のサービスとの連携窓口を設置している医療機関数	※	10.5	令和元年度10月	10.9	令和3年10月	モニタリング指標			
				C1001	脳卒中看護分野の認定看護師数	※	0.4	令和2年12月	0.4	令和4年12月	モニタリング指標	◆改善している(目標は達成している項目と未達成の項目がある)		
10	・口腔機能管理医療機関への支援(再掲) ・歯科連携による口腔ケアの推進(再掲)	10	脳梗塞性肺炎等の合併症の予防及び治療が行える体制が整備されている	C1101	口腔機能管理を受ける患者数	※	433.0	令和元年度	455.0	令和2年	モニタリング指標			
				C1102	訪問歯科衛生指導を受ける患者数	※	4113.2	令和元年度	3750.4	令和2年	モニタリング指標			
11	・地域包括ケアシステムの構築(再掲)	11	回復期・維持期の医療機関等と急性期の医療機関や回復期の医療機関や福祉サービスの連携体制が構築されている	C1201	病院に勤務する医師ソールワーカー数	※	7.7	平成29年	10	令和2年	モニタリング指標			
				C1202	遠隔支援担当者を配置している診療所・病院数(再掲)	※	55	平成29年度	74	令和2年	モニタリング指標			
12	・リハビリテーション専門職等の人材の育成 ・介護サービス事業者等の人材の育成 ・リハビリテーション相談の実施	12	生活機能の維持・向上のためのリハビリテーションが提供される体制が整備されている	C1301	リハビリテーションが実施可能な医療機関数	※	4.3	令和2年3月	4.5	令和3年3月	達成	4.5		
				C1302	訪問リハビリを提供している従事者数	※	10.0	令和2年7月	—	(確認中)	10.7			
				C1303	通所リハビリを提供している従事者数	※	15.2	令和2年7月	—	(確認中)	17.6			
				C1304	リハビリテーション相談件数	※	166	令和2年度	194	令和4年度	245			

## B 中間アウトカム

番号	B中間アウトカム	B中間アウトカム指標	備考 ※がついている値は、は人口10万対			※目標値は令和5年度末(時点が異なる場合は時点も記載)						
			備考 ※	初期値(計画策定時の値)	初期値の後の年又は年度	現況値	現況値の年又は年度	目標値	評価			
【予防】	基礎疾患及び危険因子の管理ができる	B101	喫煙率(男性)国民生活基礎調査(注1)	※	33.2%	令和元年度	30.5%	令和29年	32.5%	令和4年	20%	◆目標を達成できなかった
		B102	喫煙率(女性)国民生活基礎調査(注1)	※	9.7%	令和元年度	9.7%	平成29年	8.1%	令和4年	6%	◆改善している指標と、悪くなっている項目の両方あり
		B103	喫煙率(女性)国民生活基礎調査(注1)	※	11.7%	令和元年度	11.7%	平成29年	8.1%	令和4年	12%	
		B104	ハイスループット飲酒者の割合(男性)	※	16.2%	平成28年	17.4%	令和4年	17.4%	令和4年	12%	
		B105	ハイスループット飲酒者の割合(女性)	※	8.0%	平成28年	9.1%	令和4年	9.1%	令和4年	6%	◆値が悪くなっているものは、状況把握(理由・背景等)のを行い、関連する取組を改善等する必要がある
		B106	特定健診受診率	※	61.2%	令和元年度	61.7%	令和3年度	61.7%	令和3年度	70%	
		B107	特定保健指導実施率	※	25.2%	令和元年度	25.1%	令和3年度	25.1%	令和3年度	45%	
		B108	特定健診受診者のうちメタボリックシンドローム該当者・予備該当者割合	※	31.4%	令和元年度	32.2%	令和3年度	32.2%	令和3年度	29%	(注1)喫煙率については、国の調査結果が発表されていないので、参考までに県の調査を記載した。
		B109	糖尿病患者の年齢調整死亡率(男性)	※	4.5	平成27年度	4.7	令和2年度	4.7	令和2年度	(注2)	
		B110	糖尿病患者の年齢調整死亡率(女性)	※	1.8	平成27年度	1.9	令和2年度	1.9	令和2年度	(注2)	
		B111	塩分摂取量(男性)	※	11.4g	平成28年	10.3g	令和4年	10.3g	令和4年	9g	
		B112	塩分摂取量(女性)	※	9.5g	平成28年	9.4g	令和4年	9.4g	令和4年	8g	
		【数値】	患者ができるだけ早期に専門医療機関へ搬送される	B201	救急医療(救急)から医療機関への収容までに要した平均時間	※	41.7分	令和元年度	44.9分	令和3年	39.5分	39.5分
B301	脳梗塞に対するt-PAIによる血栓溶解法の実施件数(算定回数)			※	13.6	令和元年度	14.9	令和3年	14.9	令和3年	モニタリング指標	(すべてモニタリング指標)
B302	脳梗塞に対するt-PAIによる血栓溶解法の実施件数(SCR)			※	59.1	令和元年度	92.0	令和2年	92.0	令和2年	モニタリング指標	
B303	脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施件数(算定回数)			※	11.2	令和元年度	17.2	令和3年	17.2	令和3年	モニタリング指標	
【急性期】	発症後早期に専門的な治療/リハビリテーションを受けることができる	B304	脳梗塞に対する脳血管内治療(経皮的脳血栓回収術等)の実施件数(SCR)	※	69.2	令和元年度	61.8	令和2年	61.8	令和2年	モニタリング指標	
		B305	くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数(算定回数)	※	5.5	令和元年度	5.5	令和3年	5.5	令和3年	モニタリング指標	
		B306	くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数(SCR)	※	113.2	令和元年度	126.5	令和2年	126.5	令和2年	モニタリング指標	
		B307	くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数(算定回数)	※	5.5	令和元年度	6.4	令和3年	6.4	令和3年	モニタリング指標	
		B308	くも膜下出血に対する脳動脈瘤クリッピング術の実施件数(SCR)	※	126.5	令和元年度	143.1	令和2年	143.1	令和2年	モニタリング指標	
		B309	脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数(算定回数)	※	1422.0	令和元年度	1473.3	令和3年	1473.3	令和3年	モニタリング指標	
		B310	脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数(SCR)	※	64.5	令和元年度	62.5	令和2年	62.5	令和2年	モニタリング指標	
		B311	脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの実施件数(算定回数)	※	65,569.1	令和元年度	70,784.8	令和2年	70,784.8	令和2年	モニタリング指標	
		B312	脳卒中患者に対する早期リハビリテーションの実施件数(SCR)	※	79.1	令和元年度	82.5	令和2年	82.5	令和2年	モニタリング指標	
		B313	脳卒中患者に対する地域連携計画作成等の実施件数(算定回数)	※	32.5	令和元年度	39.6	令和2年	39.6	令和2年	モニタリング指標	
B314	脳卒中患者に対する地域連携計画作成等の実施件数(SCR)	※	47.3	令和元年度	59.3	令和2年	59.3	令和2年	モニタリング指標			
【回復期・維持期】	身体機能の早期改善、日常生活への復帰、生活機能維持・向上のためのリハビリテーションを受けることができる	B401	脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数(算定回数)	※	1,422	令和元年度	1,473.3	令和3年	1,473.3	令和3年	モニタリング指標	◆目標はすべて未達成
		B402	脳卒中患者に対する嚥下訓練の実施件数(SCR)	※	64.5	令和元年度	62.5	令和2年	62.5	令和2年	モニタリング指標	◆値が悪くなっているものは、状況把握(理由・背景等)のを行い、関連する取組を改善等する必要がある
		B403	脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数(算定回数)	※	68,486.5	令和元年度	54,455.3	令和3年	54,455.3	令和3年	モニタリング指標	
		B404	脳卒中患者に対するリハビリテーションの実施件数(SCR)	※	69.5	令和元年度	72.3	令和2年	72.3	令和2年	モニタリング指標	
【回復期・維持期】	身体機能の維持・向上のためのリハビリテーションが提供される体制が整備されている	B405	ADL改善率	※	0.6	令和2年度	(注3) —	—	0.7	0.7	注3 ADL改善率は、計画策定時の出典について不明確な点があるため調査中。	
		B406	訪問リハビリを提供している事業者数	※	2.5	令和2年7月	2.2	令和3年度	2.2	令和3年度	2.7	
		B407	通所リハビリを提供している事業者数	※	5.4	令和2年7月	5.4	令和3年度	5.4	令和3年度	6.3	
		B408	脳卒中患者に対する地域連携計画作成等の実施件数(算定回数)(再掲)	※	32.5	令和元年度	39.6	令和2年	39.6	令和2年	モニタリング指標	
B409	脳卒中患者に対する地域連携計画作成等の実施件数(SCR)(再掲)	※	47.3	令和元年度	59.3	令和2年	59.3	令和2年	モニタリング指標			

## A 分野アウトカム

番号	A分野アウトカム	A分野アウトカム指標	備考 ※がついている値は、は人口10万対			※目標値は令和5年度末(時点が異なる場合は時点も記載)				
			備考 ※	初期値(計画策定時の値)	初期値の後の年又は年度	現況値	現況値の年又は年度	目標値	評価	
1	脳血管疾患の発生が減少している	A101	脳血管疾患の受療率(入院)	※	91人	平成29年	73人	令和2年	モニタリング指標	(すべてモニタリング指標)
		A102	脳血管疾患の受療率(外来)	※	56人	平成29年	47人	令和2年	モニタリング指標	
		A103	脳血管疾患患者数	※	148.3	平成29年度	122.7	令和2年	モニタリング指標	
2	脳血管疾患による死亡が減少している	A201	脳血管疾患の年齢調整死亡率(男性)(上段は昭和66年、下段は平成27年モデル人口)	※	43.0	平成27年	40.0	令和2年度	37.1	◆良くなっている(目標は達成していない)
		A202	脳血管疾患の年齢調整死亡率(女性)(上段は昭和66年、下段は平成27年モデル人口)	※	23.7	平成27年	22.6	令和2年度	22.2	◆今回、評価できない項目が多い
		A203	脳卒中標準化死亡率(脳出血)(男性)	※	126.522	平成25年~平成29年	—	令和6年4月頃更新予定	100(全国値)を下回る	
		A204	脳卒中標準化死亡率(脳出血)(女性)	※	129.742	平成25年~平成29年	—	令和6年4月頃更新予定	100(全国値)を下回る	
		A205	脳卒中標準化死亡率(脳梗塞)(男性)	※	108.915	平成25年~平成29年	—	令和6年4月頃更新予定	100(全国値)を下回る	
		A206	脳卒中標準化死亡率(脳梗塞)(女性)	※	111.818	平成25年~平成29年	—	令和6年4月頃更新予定	100(全国値)を下回る	
		A207	脳卒中標準化死亡率(脳出血)(全体)(男性)	※	114.269	平成25年~平成29年	—	令和6年4月頃更新予定	100(全国値)を下回る	
		A208	脳卒中標準化死亡率(脳出血)(全体)(女性)	※	115.281	平成25年~平成29年	—	令和6年4月頃更新予定	100(全国値)を下回る	
		A209	健康寿命(男性)	※	72.90年	令和元年	—	令和6年度更新見込み	73.15年	
		A210	健康寿命(女性)	※	75.10年	令和元年	—	令和6年度更新見込み	75.22年	
3	脳血管疾患が日常生活の中で質の高い生活を送ることができる	A301	在宅等生活の場に戻った脳血管疾患患者の割合	※	0.5	平成29年度	—	令和5年度に更新予定	60%(令和2年)	◆すべての項目が良くなっている
		A302	健康寿命と平均寿命の差(男性)	※	8.82年	平成28年	8.72	令和元年	8.51年	
		A303	健康寿命と平均寿命の差(女性)	※	12.86年	平成28年	12.56	令和元年	達成	12.63年

改善 ↑ 悪化 ↓ 変化なし → 達成 目標達成

# 心血管疾患ロジックモデル【各指標と評価】 (全体版)

参考資料① 心血管

## C 初期アウトカム (+個別政策アウトプット)

番号	C個別政策アウトプット	番号	C初期アウトカム	C初期アウトカム指標	備考	初期値		現況値		目標値	評価									
						数値	初期値の連年の又は年度	数値	現況値の連年の又は年度											
1	生活習慣病予防、重症化予防に係る取組	1	高血圧、脂質異常症、喫煙、糖尿病等の危険因子の管理ができてきている	C101	みやびヘルスサテライトステーション登録施設数	127	令和3年9月	149	令和4年	145	達成	◆目標達成できなかった。								
				C102	喫煙率(男性)・国民生活基礎調査喫煙率(男性)・国民健康・栄養調査(注1)	33.2%	令和元年	32.5%	令和4年	20%	—	◆改善している項目と、悪くなっている項目の両方あり。								
				C103	喫煙率(女性)・国民生活基礎調査喫煙率(女性)・国民健康・栄養調査(注1)	9.7%	令和元年	8.1%	令和4年	6%	—	◆値が悪くなっているものは、状況把握(理由・背景等)のを行い、関連する取組を改善等する必要がある。								
				C104	ハイリスク飲酒者の割合(男性)	16.2%	平成28年	17.4%	令和4年	12%	—									
				C105	ハイリスク飲酒者の割合(女性)	8.0%	平成28年	9.1%	令和4年	6%	—									
				C106	肥満患者の年齢調整死亡率(男性)	4.5	平成27年度	4.7	令和2年度	(注2)	—									
				C107	肥満患者の年齢調整死亡率(女性)	1.8	平成27年度	1.9	令和2年度	(注2)	—									
				C108	増分摂取量(男性)	11.4g	平成28年	10.3g	令和4年	9g	—									
				C109	増分摂取量(女性)	9.5g	平成28年	9.4g	令和4年	8g	—									
				C110	1日の歩数(20~64歳男性)	6,830歩	平成28年	7,263歩	令和4年	9,000歩	—									
				2	健診等に関わる人材の育成	2	特定健診・特定保健指導を受けがたいことのできている	C201	特定健診受診率	61.2%	令和元年	61.7%	令和3年度	70%						
C202	特定保健指導実施率	25.2%	令和元年					25.1%	令和3年度	45%										
C203	特定保健指導者のうちマネジメントスタッフの割合	31.4%	令和元年					32.2%	令和3年度	29%										
C204	みやびヘルスサテライトステーション登録施設数(再掲)	127	令和3年9月					149	令和4年	145	達成									
3	応急手当の普及啓発(救急訓練用人的の養成)	3	本人及び家族等周囲に心停止(蘇生訓練用人的)の養成					C301	申請上級救命講習人口1万人あたりの受講者数	163	令和元年	66.8	令和3年	170	—	◆目標を達成できなかった。				
								C302	発症から救急搬送までの時間	90分	令和2年度	82分	令和3年	モニタリング指標	◆改善している項目と、悪くなっている項目の両方あり					
								C401	心臓機能停止患者(心臓停止患者)全搬送人数のうち、一般市民により救急搬送された患者	47	令和元年	24	令和3年	50	—					
								C402	心臓機能停止患者に対する一般市民の応急手当実施率	55.2%	令和元年	57.2%	令和3年	60%	—					
								4	応急手当の普及啓発(消防団関係施設へのAED導入)	4	心臓機能停止患者に対してAEDの使用を含めた救急現場での適切な処置を実施することができる	C501	救急隊の救急隊員によるAEDの使用(消防団関係施設)	91.0%	令和元年	92.1%	令和3年	100%	—	
												C502	救急隊の救急隊員によるAEDの使用(消防団関係施設)	91.0%	令和元年	92.1%	令和3年	100%	—	
												C503	救急隊の救急隊員によるAEDの使用(消防団関係施設)	91.0%	令和元年	92.1%	令和3年	100%	—	
								5	救命隊士の養成	5	救急隊員が、活動アロケールに前向きにアプローチしている	C601	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	23	令和2年8月	23	令和2年	25	—	
												C602	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	351	令和2年度	417	令和3年度	モニタリング指標		
				C603	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	21.2%	平成29年					(確認中)	令和3年	モニタリング指標						
				C604	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	21.2%	平成29年					(確認中)	令和3年	モニタリング指標						
				7	循環器科医療体制の更なる充実・強化	7	24時間循環器等の心血管疾患の急性期医療に対応できる体制を整えている	C701	循環器内科医師数	10.2人	平成30年	9.5人	令和2年	モニタリング指標	(すべてモニタリング指標)					
								C702	心臓血管外科医師数	2.3人	平成30年	2.3人	令和2年	モニタリング指標						
C703	心臓内科系集中治療室(CCU)を有する病院数	0.2	平成29年					0.1	令和2年	モニタリング指標										
C704	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	0.5	令和3年10月					0.5	令和3年10月	モニタリング指標										
C705	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	2.3	令和2年10月					1.1	令和3年10月	モニタリング指標										
C706	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	0.7	令和2年10月					0.8	令和3年10月	モニタリング指標										
C707	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	0.7	令和2年10月					0.8	令和3年10月	モニタリング指標										
8	地域包括ケアシステムの構築	8	急性期の医療機関等と連携した急性期医療体制を整えている	C801	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	55	平成29年度	74	令和2年	モニタリング指標										
				C802	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	55	平成29年度	74	令和2年	モニタリング指標										
9	地域包括ケアシステムの構築(再掲)	9	急性期の医療機関等と連携した急性期医療体制を整えている	C901	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	55	平成29年度	74	令和2年	モニタリング指標										
				C902	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	124.2	令和元年年度	182.6	令和2年	モニタリング指標										
				C903	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	323.1	令和元年年度	265.7	令和2年	モニタリング指標										
				C904	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	56.7	令和元年年度	72.8	令和2年	モニタリング指標										
				C905	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	103.8	令和元年年度	97.6	令和2年	モニタリング指標										
				C906	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	20	令和2年3月	21	令和3年3月	モニタリング指標										
				C907	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	165.0	令和元年	280	令和4年度	285.0	モニタリング指標									
				C908	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	0.2	令和2年12月	0.2	令和3年12月	モニタリング指標										
				C909	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	259	令和元年年度	231	令和2年	378	モニタリング指標									
				C910	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	21.5	令和2年1月	25.6	令和3年1月	モニタリング指標										
				C911	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	76%	令和3年9月	70%	令和5年3月	80%	モニタリング指標									
10	在宅療養の充実・地域包括ケアシステムにおいて活躍できる医療従事者の育成	10	心血管疾患患者の在宅での療養支援体制を整えている	C1001	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	259	令和元年年度	231	令和2年	378	モニタリング指標									
				C1002	救急隊員が活動アロケールに前向きにアプローチしている	21.5	令和2年1月	25.6	令和3年1月	モニタリング指標										

## B 中間アウトカム

番号	B中間アウトカム	B中間アウトカム指標	備考	初期値		現況値		目標値	評価		
				数値	初期値の連年の又は年度	数値	現況値の連年の又は年度				
【予防】	1	心筋梗塞等の心血管疾患の発症を予防できている	B101	心疾患(高血圧症のものを除く)の受診率(入院)	46人	平成26年度	44人	令和2年	モニタリング指標	(すべてモニタリング指標)	
			B102	心疾患(高血圧症のものを除く)の受診率(外来)	53人	平成26年度	83人	令和2年	モニタリング指標		
			B103	虚血性心疾患受診率(入院)	11	平成29年度	11人	令和2年	モニタリング指標		
【救護】	2	心筋梗塞等の心血管疾患の救済(救急)から医療機関への収容まで早期に医療機関に到着している	B201	救急搬送(救急)から医療機関への収容まで早期に医療機関に到着している	41.7分	令和元年	44.9分	令和3年	39.5分	◆すべての項目が悪くなっている(目標も未達成)	
			B202	救急搬送(救急)から医療機関への収容まで早期に医療機関に到着している	13.5%	令和元年	9.8%	令和3年	13.9%	◆値が悪くなっているものは、状況把握(理由・背景等)のを行い、関連する取組を改善等する必要がある	
			B203	救急搬送(救急)から医療機関への収容まで早期に医療機関に到着している	55.7%	令和元年	54.5%	令和3年	61.2%		
【急性期】	3	発症後早期に専門的な治療を開始し、心身機能回復を促進している	B301	救急搬送(救急)から医療機関への収容まで早期に医療機関に到着している	65.4%	令和元年	62.9%	令和3年	70%	◆すべての項目が悪くなっている(目標も未達成)、その後はモニタリング指標	
			B302	救急搬送(救急)から医療機関への収容まで早期に医療機関に到着している	207.1	令和元年	171.4	令和3年	モニタリング指標		
			B303	救急搬送(救急)から医療機関への収容まで早期に医療機関に到着している	94.6	令和元年	66.1	令和2年	モニタリング指標		
			B304	救急搬送(救急)から医療機関への収容まで早期に医療機関に到着している	9.9	令和元年	8.7	令和3年	モニタリング指標		
			B305	救急搬送(救急)から医療機関への収容まで早期に医療機関に到着している	1885.6	令和元年	2054.7	令和3年	モニタリング指標		
			B306	救急搬送(救急)から医療機関への収容まで早期に医療機関に到着している	107.8	令和元年	106.6	令和2年	モニタリング指標		
			B307	救急搬送(救急)から医療機関への収容まで早期に医療機関に到着している	386.6	令和元年	364.1	令和2年	モニタリング指標		
			B308	救急搬送(救急)から医療機関への収容まで早期に医療機関に到着している	105.8	令和元年	101.1	令和2年	モニタリング指標		
			B309	救急搬送(救急)から医療機関への収容まで早期に医療機関に到着している	32.5	令和元年	39.6	令和2年	モニタリング指標		
			B310	救急搬送(救急)から医療機関への収容まで早期に医療機関に到着している	47.3	令和元年	59.3	令和2年	モニタリング指標		
			B311	救急搬送(救急)から医療機関への収容まで早期に医療機関に到着している	6.3	平成29年	6.8	令和2年	6		
			B312	救急搬送(救急)から医療機関への収容まで早期に医療機関に到着している	3時間52分	令和元年	4時間15分	令和3年	3時間45分		
			B313	救急搬送(救急)から医療機関への収容まで早期に医療機関に到着している	121	令和3年	120	令和3年	モニタリング指標		
			【回復期・慢性期・再発予防】	4	合併症や再発を、在宅療養や日常生活の中で再発予防するための心血管疾患リハビリテーションを中心とした適切な対応を促している	B401	合併症や再発を、在宅療養や日常生活の中で再発予防するための心血管疾患リハビリテーションを中心とした適切な対応を促している	1885.6	令和元年	2054.7	令和3年
B402	合併症や再発を、在宅療養や日常生活の中で再発予防するための心血管疾患リハビリテーションを中心とした適切な対応を促している	107.8				令和元年	106.6	令和2年	モニタリング指標		
B403	合併症や再発を、在宅療養や日常生活の中で再発予防するための心血管疾患リハビリテーションを中心とした適切な対応を促している	285.7				令和元年	151.4	令和3年	モニタリング指標		
B404	合併症や再発を、在宅療養や日常生活の中で再発予防するための心血管疾患リハビリテーションを中心とした適切な対応を促している	28.1				令和元年	25.3	令和2年	モニタリング指標		
B405	合併症や再発を、在宅療養や日常生活の中で再発予防するための心血管疾患リハビリテーションを中心とした適切な対応を促している	386.6				令和元年	364.1	令和2年	モニタリング指標		
B406	合併症や再発を、在宅療養や日常生活の中で再発予防するための心血管疾患リハビリテーションを中心とした適切な対応を促している	105.8				令和元年	101.1	令和2年	モニタリング指標		
B407	合併症や再発を、在宅療養や日常生活の中で再発予防するための心血管疾患リハビリテーションを中心とした適切な対応を促している	32.5				令和元年	39.6	令和2年	モニタリング指標		
B408	合併症や再発を、在宅療養や日常生活の中で再発予防するための心血管疾患リハビリテーションを中心とした適切な対応を促している	47.3				令和元年	59.3	令和2年	モニタリング指標		
B409	合併症や再発を、在宅療養や日常生活の中で再発予防するための心血管疾患リハビリテーションを中心とした適切な対応を促している	6.3				平成29年	6.8	令和2年	6		
B410	合併症や再発を、在宅療養や日常生活の中で再発予防するための心血管疾患リハビリテーションを中心とした適切な対応を促している	9118.9				平成30年度	10756.9	令和3年	モニタリング指標		
B411	合併症や再発を、在宅療養や日常生活の中で再発予防するための心血管疾患リハビリテーションを中心とした適切な対応を促している	3612.7				平成30年度	436.0	令和2年	モニタリング指標		
B412	合併症や再発を、在宅療養や日常生活の中で再発予防するための心血管疾患リハビリテーションを中心とした適切な対応を促している	18				令和3年9月	76	令和5年3月	75	達成	
B413	合併症や再発を、在宅療養や日常生活の中で再発予防するための心血管疾患リハビリテーションを中心とした適切な対応を促している	18				令和3年9月	76	令和5年3月	75	達成	

## A 分野アウトカム

番号	A分野アウトカム	A分野アウトカム指標	備考	初期値		現況値		目標値	評価	
				数値	初期値の連年の又は年度	数値	現況値の連年の又は年度			
1	心血管疾患による死亡が減少している	A101	心疾患の年齢調整死亡率(男性)	65.1	平成27年度	62.8	令和2年度	60.9	◆すべての項目が悪くなっている(目標も達成していない項目が多い)	
				30.9	平成27年度	28.6	令和2年度	29.4	達成	
				7.7	平成27年度	6.8	令和2年度	7.0	達成	
				3.9	平成27年度	3.1	令和2年度	3.3	達成	
				25.5	平成27年度	23.3	令和2年度	22.6	—	
				9.5	平成27年度	7.0	令和2年度	8.7	達成	
				75.5	平成25年	—	令和8年4月	初期値から5ポイント下げる	—	
				84.5	平成25年	—	令和8年4月	初期値から5ポイント下げる	—	
				90.3	平成25年	—	令和8年4月	初期値から5ポイント下げる	—	
				88.1	平成25年	—	令和8年4月	初期値から5ポイント下げる	—	
				100.2	平成25年	—	令和8年4月	初期値から5ポイント下げる	—	
				97.3	平成25年	—	令和8年4月	初期値から5ポイント下げる	—	
				72.90年	令和元年	—	令和6年度	更新更新予定	73.15年	
				75.10年	令和元年	—	令和6年度	更新更新予定	75.22年	
				A102	急性心筋梗塞の標準化死亡率(男性)	—	令和6年4月	更新更新	初期値から5ポイント下げる	—
				A103	急性心筋梗塞の標準化死亡率(女性)	—	令和6年4月	更新更新	初期値から5ポイント下げる	—
				A104	急性心筋梗塞の標準化死亡率(男性)	—	令和6年4月	更新更新	初期値から5ポイント下げる	—
A105	急性心筋梗塞の標準化死亡率(女性)	—	令和6年4月	更新更新	初期値から5ポイント下げる	—				
2	心血管疾患患者が日常生活の場での高い生活を送ることができる	A201	在宅等日常生活の場での高い生活を送ることができる	96.8%	平成29年	—	令和3年度	更新見込み	88% (令和2年)	◆すべての項目が良くなっている(目標も達成している項目が多い)
				8.82年	平成28年	8.72	令和元年	8.51年	—	
A202	健康寿命と平均寿命の差(男性)	12.86年	平成28年	12.56	令和元年	12.63年	達成			